

地震記象紙用「ワニス」

石川 高見

地震記象紙を處理致します時に使ふ「ワニス」の類には種々のものがありまして其調合も各種あります、市中にても調合販賣してゐますが、要は無色透明にして記象紙に餘りに伸縮を與へないものと而して經濟の點とてあると思ひます。

現在私共の使用してゐますものを御參考までに申述べます、尙各位に於かれて外の種類のもの、御實驗の結果を御教示し下さることを希望致します。たゞ餘りに色の付いた塗料は如何かと思はれます。

一、無水アルコール 一 罐 (三十二圓位)

一、サンダラックゴム 三百八十匁 (百匁一圓八十錢位)

一、洋チャン(松ヤニ) 百七十匁 (百匁二十錢位)

の三種をよく混溶した溶液であります、無水アルコールは一罐内に約三十五ポンド入りです、松ヤニとサンダラックゴムは其まゝにては解け難いものですが、よく細粉してアルコール中に入れ且つ度々其容器と共に振り動かして搔混してゐますと完全な溶液となります。この溶液を日常使用するに簡便なる器物に分ち置く、無論蓋をして置く事必要です、このニスを使用中アルコールが次第に蒸發するに従つて

濃厚となつてきますが然る時は最初溶液を造る前にアルコールを少量、別に分ちて用意して置き適當に薄めて行きつゝ使用すると極めて經濟的に使はれます。

記象紙を仕上げる時、空氣中に湿度が多い時節には白色となり又は斑點が生じて奇麗にゆかない場合がありますが斯かる時は記象紙は其まゝにして完全に乾かしたる後可成りの火熱を加へると白色や斑點は消へ失せて美しくなります。ニス仕上げの後、炭火の上にて乾かすこともありますが是は止むを得ない場合の外は火事の危険もありますから避く可き方安全でもありますし記象紙は日光にて乾燥せしものが最も美しく仕上ります、又はワニスの中に他の塵芥等が交はつてゐますと記象紙を傷つけますから使用中のニスが漸次に濁つて來たならば篩いにて漏過することが必要です。

記象紙に煤煙をつけるには燻しランプの焰を大にして急激に油煙を立てしめると油煙はポロ／＼となつて具合が悪いから燻煙の分子がなる可く細かくなる様に焰を小さくして徐々と燻らす方が滑かに一樣にゆく様です。現今では石油の油煙を用いてゐますが或は他に更に分子の微細な適當のものがあはしないかと思ひます。地震觀測の如きも次第に改善されて極く微細な振動までも調査研究を要することゝなる可きと思はれますに就いては其の唯一の基本とす可き記象紙の如きも出來るだけ明瞭に而して丁寧に處理す可きものであると存じます。

尚地震發震時は近年無線報時の設置さると共に頼に正確となりましたが、地震計の圓筒軸が正しくな

く多少にても曲つてゐると随つて圓筒の廻轉は偏つて爲に秒位の誤りを生ずることもまゝある様に思はれます。かゝる器械の記象はタイムのスケールが長短不揃でありますから一見して明かとなります。描針それ自身が時を記する装置あるものは時刻は正確に測られますが、時記装置が別の針にあるものは多少の誤差を生じ易き傾きあるを以て廻轉の終始に於て此の點に注意を要すべきと思ひます。

地震報告の記入に關して

佐藤 秀雄

目下各地測候所（觀測所）よりの地震報告の型式に二様あり、即ち地震觀測表と管内地震觀測（管内地震報告）との二種之れなり。

地震觀測表は測候所（觀測所）の微動計（地動計、簡單微動計）の觀測並に人身感覺到據る觀測を記載し。

管内地震觀測（管内地震報告）は管内地震觀測所に於ける人身感覺到據る觀測（管内觀測所に地震計の据付あるときは地震計に依る觀測をも含む）を記載するものなり。

地震觀測表中各相即ち P, P, PP, S, PS, SS, SSS, L, M, C, W₁, W₂, W₃, F, (PS, L, M, C, F, 以外のもは遠地々震にのみ現はる）等に ㊦（東西動）㊮（南北動）㊮（上下動）及び ㊰（明瞭）、（不明瞭）等の